特定非営利活動法人　希望と輝きのまちひがしねを創造する　第28号　２０１６年1月

クリエイトひがしねニュース

発行　ＮＰＯ法人クリエイトひがしね　999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-0732 www.higashine.org　発行責任者　菊 地 和 博

遊育･共育の確立を目指して

事務局長　村　山　恵　子

明けましておめでとうございます。

昨年４月より施行されている「東根市子ども・子育て支援事業計画」の中のメインプラン１として、〈さくらんぼタントクルセンターとあそびあランドを拠点とした、柔軟で多彩な子育て支援や遊育・共育の普及と実行〉が掲げてあります。子育て支援の原点である「すべての子どもの最善の利益」を追求していく東根市の姿勢に、深く感銘し共感しております。

私たちは、この「ひがしねスタイル子育て」の方針を確立し身につけ、二つの施設を訪れるすべての子ども達と子育て中のお父さんお母さんと共有するために、毎月の休館日には朝からびっしりと研修を組み、日々研鑽を積んでいます。

その中でも「遊育」は奥が深く、学ぶほどに「遊び」は生きていく上に欠かせない、「衣食住」に匹敵するほどその子の心身を育む上で、不可欠な要素だと思うようになりました。遊びは誰かにさせられるものではなく、自分で好きな遊びをはじめるからこそ、その子の世界をつくりあげているのです。

そして、その世界は誰かと比べることではなく、自分にとって意味があって価値がある、遊びは「自分」を知り、そして「自分」を確立させていくのです。遊育には、その他にもたくさんの能力を引き出す要素があふれています。

今年もこの遊育の価値をひろめ、地域の中でもっと「遊育・共育」ができる豊かな地域社会の再生をめざして、これからも邁進してまいります。

あそびあランド

移動プレイパーク

家からの距離や学区外などが理由で、あそびあランドになかなか足を運べない子どもたちがたくさんいます。そんな子どもたちにもっとあそびあランドを知ってもらうために、生活圏内にあそびあランドの特色の一つでもあるプレイパークを持っていこう！！というのが移動プレイパークです。

今年度は、長瀞・東郷・大富の各公民館で奇数月に計6回開催しました。来年度は、回数を毎月2回に増やし移動プレイパークの定着や地域の大人の方との繋がりも築いていきたいと思います。（斉藤翔太）

タントクルセンター

移動子育てサロン

移動子育てサロン「おひさま」は、毎月１回、神町下三区公民館と大富公民館で開催しています。０才から未就園児が対象で、子どもたちの「やってみたい」の気持を大切に、お家ではなかなかできない「あんなこと」や「こんなこと」をお友だちや親子で一緒に楽しんでいます。今回はママ達にも楽しめる、押し花でしおりづくりや、あみあみ教室をしました。（渡辺友美）

自主事業

生涯学習フェスティバル

毎年11月に開催される生涯学習課主催の生涯学習フェスティバルに、クリエイトひがしねではふれあいプラザに特設舞台を設置して、子ども中心の催しを企画してきました。今年（11月８日）は、けやきジュニア合唱団の合唱、プロジェクターを使った絵本読み聞かせ、アカペラコーラス、抽選会などでフェスティバルを盛り上げました。けやきジュニア合唱団の楽しい歌あそびには会場が一体になり、ハッピー10フェスタでの入会を含め新たに５名の会員を迎えることができました。（星川桃子）

ある日のつぶやき・業務日誌抄

けやきホール

◇4月5日（子どもスタッフ・小4女児）
仕事はとてもたいへんでした。でもはたらいている人はみんなえがおで、とても私にはできないと思いました。とてもやりがいがある仕事だと思いました。

◇10月16日
「子どもの人見知りを悩んでいましたが、他にも人見知りをする子がいて、自分の子だけではないということ、少しずつではあるが、自分からはなれていっていることへ安堵し、けやきホールがあってよかった」とおっしゃっていただきました。

◇10月20日
けやきホールで始めてあった二人、いつの間にか仲良くなり、年上の男の子がいろいろ教えていました。年下の子は、うれしそうにまねっこしながら遊んでいました。

◇10月25日
転んで泣いていた女の子のお父さんが「転んで痛かったな」と、子どもの気持ちを丁寧に、丁寧に受け止めながら、泣き止むのを待っていました。泣き止んだ女の子は後ろを振り向くことなく、また走っていきました。気持ちがしっかりつながっているんだなと思いました。

子育て支援センター

◇４月９日
新年度初の赤ちゃんサロン、たくさんの方が来てくれ遊戯室がいっぱいになりました。Ｍくんママ「いっぱい笑った～」と言ってくれました。とてもうれしい言葉でした。

◇６月18日
今日の赤ちゃんサロンでの「ママ達のアイディア交換会」ママ達の困っていることが少しでも軽くなったかなぁ～。Ｔくんママが「ここに来るとリセットされるんです」と言ってくれました。嬉しかった。

◇６月30日
今日のたっちサロンは赤ちゃんサロンから上がってきた方が６組もいてとてにぎやかでした。みなさん顔見知りなので、お互い安心して子どもを抱っこしてもらったりあやしてもらったりといい雰囲気でした。

◇８月28日
新潟から引越してきたＳちゃん。「パパの勤務地は新庄なんだけれど、子育てしやすい所と調べて東根に住みました」との事。パパは45分かけて通勤しているのだそうです。一緒にいたＡくんママが新庄からお嫁に来たので「東根に住んで正解」と言ってました。東根市大絶賛!!

来館者からのメールより

見知らぬ土地に嫁ぎ、不安がいっぱいの妻でしたが、みなさまに日々温かい支えを頂き、安心して子育てに励むことができております。いつお邪魔しても、温かい笑顔で迎えてくださること、様々なアイディアで、様々な年代の子たちとその親を楽しませてくださることに、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。気軽に参加できるサロンがあることや毎日の読み聞かせや誕生会をしてくださることなどは、一人ひとりを大切に思ってくださる証であり、親の精神的ケアも考えてくださっている証と受け止め、自慢できる要素であると感じております。今後も誰もが気軽に、そして安心して利用できるよう期待しています。（市内在住・一才児父）

タントクルセンターの皆さんへ
今日の午前中、子供たちを連れて遊びに行きました際に、下の子が消火器に足をぶつけてケガをしてしまいました。その時、丁寧に処置していただけて、嬉しかったです。ありがとうございました。家に帰ってから、ケガをしたのも忘れたように、家のなかを走り回って遊んでいます。ご心配をおかけしました。ありがとうございました。（市外在住・一才児母）

自主事業

クリエイトワークショップ2015

12月26日(土)「クリエイトワークショップ2015」をふれあいプラザで開催しました。午前の部では、お正月にも使える寄せ植えを親子一緒に作りました。参加者の皆さんはワクワクで、早速、ガーデニングアドバイザー北村陽子さんのお話を聞きながら、お孫さんやお子さんと一緒に花を植え付けました。

午後の部は、子どもから大人まで楽しめる、冬の手しごとワークショップ。「木工スプーンづくり」「パステルで絵を描こう」「指あみをしよう」「ほうき草でほうきをつくろう」など、寒い冬を室内で楽しむバラエティーにとんだメニューに親子で挑戦しました。木工スプーンづくりでは、生まれて初めて使うナイフに苦心しながらスプーンをつくりあげるなど、物を作る楽しみと喜びを味わい。冬の手仕事をテーマに地域の方々とつながり、親子の交流の場となりました。（高橋陽介）

クリエイトひがしね メンバー紹介 ⑬

平　京子

昨年２月より施設コーディネーターとして勤務、入社と同時に購入した愛車で楯岡より通っております。以前の職場では最古参で皆に"職場の総務部長"と呼ばれておりました。中学、高校ではバスケ部に所属、気力と体力は自信があります。仲間とのコミュニケーションを大切にし、常に責任を持ち、得意とする気配りで来館される皆様が笑顔で気持ち良く利用できるよう精一杯頑張ります。

植松朋美

昨年４月からけやきホールに勤務しております。出身は新庄市で最近、東根市に嫁いできました東根のことは全然知らないので色々教えてください。以前は、栄養士として勤めていました。栄養士の経験を活かし、食べることの大切さ、料理の楽しさを伝えていければと思います。けやきホールに遊びに来てくれた方に楽しかったと思っていただけるように、笑顔でお待ちしてます！

編集後記

★昨年は、タントクルセンターの開館10周年と、当法人の10周年記念事業に追われ、あっという間の１年でした。５年も10年も漫然と過ごせば単なる通過点でしかありませんが、ひとつの区切りとして振り返り、これから迎える20年目に向けて生かしていくことは、とても大切なことと思います。今年11月からは「まなびあテラス」が加わり、点から線、線から面へと東根の魅力がさらに広がるでしょう。私たちもマンネリに陥らないよう新たな気持ちで仕事に向かいたいものです。（M）